

平成 27 年 3 月定例議会

会派「港みらい」の築谷敏雄でございます。

同僚の荒井議員の代表質問に関連して質問をいたします。

市民一人ひとりを大切に教育と福祉の中から、高齢者福祉・学校教育・社会教育の充実について私見を交えながら質問させていただきます。

1、高齢者福祉の充実

2015年4月から介護保険制度が大きく改正され、団塊の世代が75歳を迎える2025年には、要介護者がピークを迎え、それに伴う介護保険会計の増大に備えて支出を抑えようとしています。特徴的なことは、特別養護老人ホーム入所者は、要介護3以上になると要支援者に対する介護サービスが全国一律から市町村の事業になり、これまで使えていたサービスが使えず、またサービスの時間短縮や負担増が予想されること、さらに一定所得以上の人の利用料負担が2割になることなどです。そのようなことを見据えて、要支援、要介護者にならないために、地域の力をかりて、さまざまな取り組みをされ中には、特徴ある取り組みをされ、実績を上げている市町村もあります。医療・介護・介護予防・日常生活支援サービスを行う上で、地域包括ケアシステムの充実に向け地域資源をいかに活用し、これからの高齢者福祉・介護保険制度にどのように向かうのか、本市の力量が問われるところだと考えます。

① 医療について

- ・高齢者福祉における済生会総合病院の位置づけについて、済生会総合病院が中心になって在宅医療体制を推進する事と考えますが市長の所見をお願いします。
- ・済生会総合病院と地域開業医の在宅医療についての連携をどのように考えておられるのかお聞かせ下さい。

② 地域包括ケアセンターについて

- ・地域包括ケアシステムにおいて、現在、北地域・南地域の2か所のセンターがあり、非常に重要な役割を果たしております。各地域の高齢者人口が5,000人前後で、両地域とも高齢者人口が毎年100～150人程度増加してきている中で、職員の増員と各種機能の強化や効率化を図る必要があります。質の高いサービスの共通認識や、かつ公平に提供するために2か所のセンターを統合して1本化することを提案いたしますが市長のお考えをお伺いします。

③ 日常生活支援サービスについて

- ・我々市民の生きがいこそが長寿の秘訣であり、健康の維持につながり、本人はもとより医療費の削減につながるのではないのでしょうか。そこで、生きがいを持てる高齢化社会の実現に向け日常生活支援の取り組みについて、本市においての具体的な施策があればお聞かせください。また、生きがいのある生涯を送るためには、趣味などの楽しみを持ち、友人との交流を大切に、ボランティア活動等に取り組むなど積極的な姿勢や態度が、生きがいづくり、健康づくり、介護予防、につながっていくのではないかと考えますが市長の所見をお聞かせ下さい。
- ・福祉的配膳サービスについて、現在、本市ではどのように行っているのか現状をお聞かせ下さい。

2、学校教育の充実

① 人口減少に伴う小・中学校の再編について伺います。

- ・今後人口が減少していく中、小・中学校の再編について具体的なプランを策定されていると思いますが、お示し下さい。また、将来小学校のなくなる校区の再編や他地域の校区割りのあり方について教育長のお考えをお願いします。
- ・今後出生数だけで小・中学校の再編を論ずるのではなく、基地の状況や企業誘致などによる社会的な人口増減を予測すべきだと考えますが、このことに関しまして市長の所見をお聞かせ下さい。

3、社会教育の充実

① 生涯学習・スポーツと公民館のあり方について。

- ・現在、公民館では、生涯学習・スポーツ・趣味を通じて幼児から高齢者の方まで多くの方々が利用されておられます。特に、生きがいを持てる高齢化社会の実現に向け日常生活支援の拠点としての位置づけとし、各種機能や健康器具等の設

置・様々なサポート体制等の充実を図らなければならないと考えますが本市としてはどのように考えているのかお聞きします。

- ・特に冬場、運動不足を解消するためには屋内でのスポーツが注目されますが、現状の公民館活動を報告してください。また、今後どのような対策を考えておられるかお聞きします。
- ・市民体育館使用禁止に伴い、公民館への対応や活動に影響がないでしょうか。またその対応策をお聞かせ下さい。